

社会価値と経済価値 の両立を目指して

～キリンググループのCSV事例をもとに～

大東文化大学Bチーム

早木成、佐藤海大、高橋和希、加納芽依、下門彩乃

目次

- 1 CSVの定義、CSRとの違い
- 2 社会価値と経済価値の意味とは
- 3 なぜキリングroupを選んだか
- 4 キリングroupの行っているCSV事例と分析
- 5 社会価値と経済価値のまとめ
- 6 社会価値と経済価値の両立を実現するために

CSVの定義、CSRとの違い

- ・ CSVの定義

社会的ニーズや社会問題の解決に取り組むことで、社会価値の創出と経済価値の創出を実現し、成長の次なる推進力にし、共通価値を創造すること。

- ・ CSRとの違い

CSRとは、あくまでもその企業や組織にとって「社会的に存在するうえでの果たすべき責任」が起点だが、CSVはそれに加え、社会との共通価値を創造していくことが目指される。

社会価値と経済価値

社会価値・・・企業が社会の持続可能な発展に寄与する事業を行うことによって社会全体が享受できる価値である。

経済価値・・・企業が財やサービスを生産・分配・交換し、消費する経済活動によって創出される価値である。

キリンググループを選んだ理由

- CSVの活動の中でも災害の復興から未来へつなげる活動を推進している
- 普段飲料を自動販売機やコンビニエンスストア等で購入する機会が多く、身近にある存在である

キリンググループのCSV事例と分析

1. 復興応援キリン絆プロジェクト
2. プラズマ乳酸菌の発見、活用
3. スリランカの紅茶農園への支援

1.復興応援キリン絆プロジェクト



- ・被災地のプロジェクトと共に東北の復興を継続的に支援。
- ・東北6県の果物を使用し「小岩井 純水東北ミックス(2021/3/2)」を発売。
売上一本につき1円を被災地の教育支援に寄付。
- ・金銭の一方的な支援だけではなく、被災地とともに地域の根本的な課題の解決

社会価値分析



- ・キリンが掲げるCSVの重点課題「地域社会・コミュニティ」にあたる
- ・CSRでは「フィランソピー」という慈善活動的なもの



- ・CSVでは継続的な支援と被災地発展を目的に地域活性化を図り、社会価値を向上させつつビジネス展開を行った

経済価値分析



- ・農家(原料生産者).....風評被害に苦しむ作物の安全性をアピールし、収益を回復
- ・消費者.....被災地支援目的での購買意欲により、経済の流動化
- ・キン.....被災地支援での自社のイメージアップと収益の増加

2. プラズマ乳酸菌の発見・活用

- 2010年にプラズマ乳酸菌を発見。
- 免疫細胞(**上位細胞**)に影響を与えるプラズマ乳酸菌。

・プラズマ乳酸菌の3つの効果

①インフルエンザ・風邪に対するリスクの低減

②肌バリア機能の向上

③運動後の体調・疲労の軽減

・日本初、“免疫機能”を含む機能性表示食品「iMUSE」を発売

社会価値分析

- キリンが掲げるCSVの重点課題「健康」にあたる
- 高齢化社会の進展・新型コロナの影響による健康意識の高まりへ対応

→社会課題の一つである「**人々の健康維持**」に貢献



経済価値分析

消費者・・・免疫機能の機能性表示食品「iMUSE」ブランドの
商品展開により、免疫機能が向上し健康増進

→医療費削減

キリン・・・国内外における「プラズマ乳酸菌」関連事業の
累計販売金額が前年比**約6割増**(2021年1月～9月)

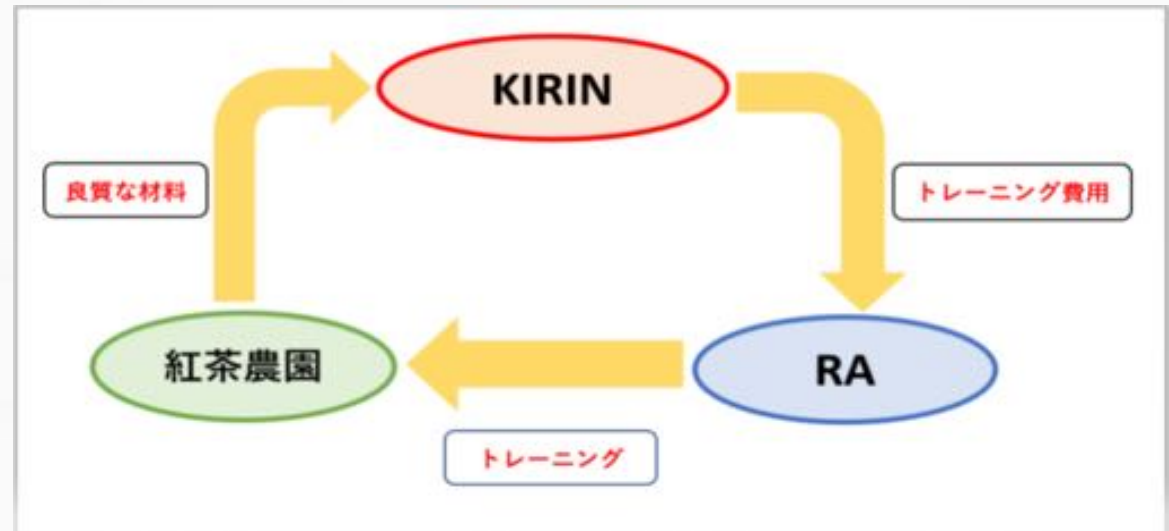


3.スリランカの紅茶農園への支援



- RA(レインフォレスト・アライアンス) 認証の取得の援助。

RA認証:農園が環境保護、社会的公正、経済的競争力の全てについて持続可能であることを、独立した立場から一定の基準に照らして監査・保証する認証制度である。



-
- ・土砂流入や汚染などを防ぐための保全活動
 - ・農村周辺に居住する人々が水を大切に使うための教育プログラム
 - ・農園経営の持続可能性を高める

社会価値分析

- ・キリンが掲げるCSVの重点課題「地域社会・コミュニティ」にあたる
- ・スリランカの農園の持続可能性が高まる
- ・SDGsに基づき「飢餓を無くし、持続可能な農業」を目指した取り組み（スリランカへの紅茶支援）を行うことで、社会貢献につながっている

2 飢餓を
ゼロに



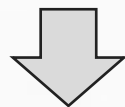
経済価値分析



麒麟・・・持続可能で良質な紅茶葉の安定的な確保が来ている

麒麟・・・地域社会への貢献活動に取り組むことでブランド力強化につながっている

農家(原料生産者)・・・ スリランカ農園の持続可能性が高まる



環境に優しい農業 **農家の収益向上**

社会価値まとめ

	CSV重点課題	社会価値
1.復興応援キリン 絆プロジェクト	地域・社会コミュニティ	被災地への継続的な支援・発展への貢献
2.プラズマ乳酸菌の 発見・活用	健康	健康意識の高まりに対応し、「人々の健康維持」に貢献
3.スリランカの紅茶 農園への支援	地域・社会コミュニティ	スリランカ農園の持続可能性の高まりへの期待やSDGsへの取り組み

経済価値まとめ

	原料生産者	消費者	KIRIN
1.復興応援キリン絆プロジェクト	作物の安全性を示し、収益を回復	支援目的での購買により、経済の流動化に繋がる	被災地支援によってイメージアップと収益の増加
2.プラズマ乳酸菌の発見・活用		機能性表示食品の商品展開により、免疫機能が上がって健康増進→医療費削減	「プラズマ乳酸菌」関連事業の累計販売金額が前年比約6割増
3.スリランカの紅茶農園への支援	スリランカ農園の持続可能性が高まる		<ul style="list-style-type: none">・持続可能で良質な紅茶葉の安定的な確保が来ている・地域社会への貢献活動に取り組むことでブランド力強化につながっている

社会価値と経済価値の両立を実現するために

- 長期的な視点で事業に取り組む
× 短期的 → 財務面に偏った計画になってしまう
- 社会ニーズを含んだ製品を提供
- 地域社会の貢献活動に積極的に取り組む
- 原料生産の持続可能性を目指す

長期経営構想

新KV2021

「新麒麟・グループ・ビジョン2021」

世界のCSVの先
進企業を
目指す

ご清聴有難うございました